

Archive for 7月 2023

ネパール憲法 AI 探訪(2): 長大な巨大憲法

ネパール憲法を見てまず驚くのは、内容以前に、その大きさである。とにかく長い。優に一冊の単行本たりうる。どうしてこんな巨大な憲法を制定したのだろうか？

生成 AI に質問すると、Perplexity, Bard, ChatGPT が、それぞれ、いずれも詳細な回答を示してくれた。Bing 回答は要領をえないものだったので、ここでは除外。

1. 世界有数の長大憲法

憲法の長さを比較するのに最も手っ取り早いのが、語数。Bard によれば、次のようになる。

- ①インド憲法=146,385 語
- ②ネパール憲法=240 か条[誤り。正しくは 308 か条, 9付則]
- ③ボリビア憲法=138,352 語
- ④マレーシア憲法=132,529 語
- ⑤パキスタン憲法=128,545 語

語の数え方や、ネパール憲法だけ条文数になっていること(しかも誤り)など、かなり怪しいところもあるが、それでも世界最長がインド憲法であり、そして、それに次ぐ相対的に長い憲法の一つがネパール憲法であることは確かなようだ。

[追加(2023/08/08)][Comparative Constitutions Project](#) 掲載の各国憲法語数

- インド憲法=146,385
- ネパール憲法=32,753
- ボリビア憲法=39,375
- マレーシア憲法=64,080
- パキスタン憲法=56,240
- * 日本国憲法=4,998

2. 長大憲法の制定理由

ネパール憲法が長大となった理由は、上記 AI が、それぞれ表現は異なるが、簡潔に説明している。以下、補足しつつ要約。

(1) 紆余曲折の制定過程

ネパール憲法は、激しい長期内戦(マオイスト紛争)の終結後、諸勢力参加で国家を根底から再構築するものとして制定された。利害が複雑に絡み、起草・制定に8年もかかった。

(2) 包摂と参加

内戦を終結させるために、多様な民族、言語、宗教、地域、性などを最大限包摂し、代表させることを憲法制定原則とした。包摂民主主義(inclusive democracy)。

(3)連邦制共和国

上記(2)実現のため、従来の王制単一国家を廃止し、連邦制共和国とした。その結果、統治機構が複雑となり、それぞれの機関の構成や権限などにつき、詳細に規定することになった。

(4)民主主義と人権の保障

民主主義と人権保障のため、憲法規定を詳細かつ厳密にした。

(5)憲法解釈の混乱防止

憲法解釈が分かれ、混乱・対立が生じるのを防止するため、憲法規定を最大限詳細かつ厳密にした。

3. 憲法詳細規定の二面性

ネパール憲法は、このようにして長大憲法となったが、憲法に詳細な明文規定を置くことには長短の二面性がある。生成 AI の回答を要約し補足すれば、以下の通り。

(1)詳細規定の利点

- ①国家構造が明確で、統治の予見可能性が保障され、国民の自由と権利が守られる。
- ②憲法改正の余地を最大限無くすことにより、統治の安定が保障される。

(2)詳細規定の問題点

- ①憲法解釈の許容範囲が狭く、状況の変化に柔軟に対応できない。
- ②規定が複雑・難解となりすぎて、理解・適用が困難になる。
- ③統治が「マイクロマネジメント(過干渉管理)」となり、上意下達の官僚主義になる。

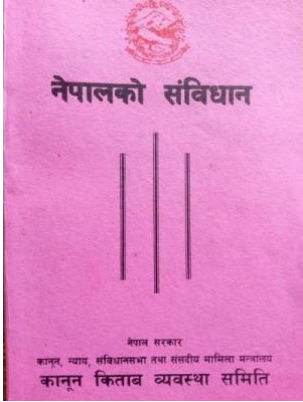
では、ネパール憲法の詳細規定は、どう評価されるべきか？ これは難しい。AI は両論併記が原則らしく、いずれとも判断していない。この点については、具体的な規定について見ていくとき、改めて検討することにしたい。

4. 憲法解釈は AI 向き

憲法、とりわけネパール憲法のような長くて複雑な憲法の解釈は、AI 向きのような気がする。憲法だけでなく、他の法令や判例などを次々と読み込み分析していけば、人間の専門家よりも迅速・的確な憲法の解釈・適用が出来るようになるのではないか。

その一方、いまのところ、まだ不安な面も少なくない。憲法の語数計算などはお得意分野だろうが、内容の分析・評価の根拠は、一応、参照先は示されるようになってきたとはいえ、まだ不十分・不明確だ。いま一つ、信用しきれない。

が、それはそれとして、AI が法学向きであることは確か。ここでは、これからしばらく、AI 先生からネパール憲法について教えを請うことにしたい。



谷川昌幸(C)

2023/07/31 at 17:14

カテゴリー: [ネパール](#), [情報 IT](#), [憲法](#)

Tagged with [AI](#), [包摂民主主義](#)